

2023国際教養科 NEWS 2月

1/17 高大連携事業 信州大学教育学部異文化間研究 小池浩子先生による2年生対象特別授業が開催されました



1年次にリモートを利用した特別授業の2回目として、今年度は対面で小池先生から特別授業を受けました。異文化のバックグラウンドを持つ人々との交流実践について、先生からD.I.Eメソッドを紹介いただきました。D.I.Eメソッドとは、異文化トレーニングの一種で、摩擦の事例をDescription(知覚)/Interpretation(解釈)/Evaluation(評価)に分け整理しながら問題を把握し解決していく方法で、問題事象が発生した場合、事実、解釈、評価を混同して対応する危険性を挙げて解説をいただきました。

理想的なDIEメソッドによる解決は、違った立場から多くの角度で事実を把握し(description)、客観的に問題を把握(interpretation)し、様々な人々で問題解決のアイデアを創出(Evaluation)する実践であり、異文化間の軋轢を取り除くには欠かせないとの内容でした。

授業終了後、ルーム長の持田花萌さんから、「国際教養科に入学して2年経過するが、国際教養科で学習している意義を再認識した。」等の感想と先生への御礼の言葉が印象的でした。



2/10 2023一校一國運動事例発表会 in Nagano に 1年国際教養科生徒4名が発表



1年国際教養科4名 松本茉莉さん、想田歩花さん、田幸未来さん、多羅尾あかりさんが、長野国際親善クラブ、信州大学教育学部現代教育コース異文化間教育ユニット共催の「2023一校一國運動事例発表会 in Nagano」にて、プレゼンテーションを行いました。

4名の生徒は、本年7月に予定されているイギリス語学研修旅行の事前学習の一環として、Debate Discussionの授業を使って、調査したイギリスの文化歴史言語の発表 All about UKを行いました。10分のプレゼンの9割以上を英語で説明して、イギリスの今昔と文化の多様性を伝えることができました。ブリティッシュイングリッシュの特徴的な発音や、アメリカ語とは違うボキャブラリーの説明を英語で解説しました。プレゼンの内容の質も高く、英語の発音もネイティブに近いものがあり、オーディエンスからは多くの質問が寄せられ、関心の高さがうかがえました。